

水主神社の秋祭り 10月6日

中東 育代

今年は猛暑のせい、遅れていた彼岸花が秋祭りの頃になってようやく咲きはじめた。短日で咲くものだとばかり思っていたのだが…。城陽市では水度神社を皮切りに荒見神社・久世神社・水主神社・平井神社とお祭りが続く(順番は正確ではない)。昔は日にちで決まっていたのだが、最近は土日になった所も多い。夜店を巡って知人が駆け回っていたのを思い出す。

実は先日の10月1日に荒見神社に神饌を作る所を見せてもらいにお邪魔していたのだが、現在薬医門の修復工事中で覆いがかかっている。たまたま本殿葺き替えの時にもお世話になったK社の方に会い、作業現場を見学させていただいた。その話しは別にする事にして、「水主神社の屋根も工事するから取材に来る？」と有り難いお申し出。勿論二つ返事だったが、工事当日の3日の日が雨予報に。気になって杉浦氏に水主の総代さんに雨でも工事をするのか聞いてもらったところ、既に終わったそう。一日前倒しで終わらせたいらしい。

5日の水主神社

5日(土)、荒見神社還幸祭が昼からだったので、祭り前日の水主神社に足を延ばす。普段は鍵がかかっているので本殿は見る事はできないが、何処を直したのか見えるといいなと軽い気持ちで堤防に沿った集落の中の道を歩く。水主の事なら最もよく知っておられる方の1人であるO氏宅にお邪魔した(この後いささか大変なハプニングが有りO氏をはじめ集落のいろんな方々に助けていただいたのだが)。稲刈りの始まった田んぼの中の参道をすすむ。「今ならお祭りの準備をしているから行ってくるといいよ、普段は入れないからね」とのO氏の言葉通り総代さん達が作業中だった。お話を聞くと現在、水主神社は春の衣縫神社の例大祭(去年は4月29日・小見外次郎翁胸像移設でお世話になった・第267号2023.05.19)が一番大きく、明日の(今年は6日)秋祭り、それ以外は中に入る事は出来

ないそう。地元の姐さんが「悪い人が来て火をつけた事があるからね」と教えて下さった。慌ただしい準備の中、随分長い間お邪魔してしまった。



祭り前日の様子

夜は御神燈で割り拝殿の中のお神輿が綺麗だったそう